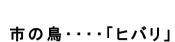
市の特産物である 「狭山茶」を象徴する にふさわしい花である。 茶の若葉の季節は春、 茶の花は秋に咲く。

市の花・・・・「茶の花」



市の木・・・・「ケヤキ」

市内に多く自生して いる木であり、落葉樹 で新緑の季節、紅葉の 季節には人々を楽しま せ、夏には心地よい緑 影と緑風を与える。



武蔵野の空に舞う、 のどかな感じのある鳥 「ヒバリ」。

毎年初夏になると、さ えずりながら大空へ舞 い上がる姿は、広く市 民に親しまれている。

文

化

 \mathcal{O}

花

咲

カン

せ

ょ

(三)

秩 父

 \mathcal{O}

峰

を

仰

ぎみ

P き \mathcal{O} 空に 幸 を

呼

び

(四)

け

ŧ

あ 安 Š れ ぎ る \mathcal{O} ふるさとよ 入 間 市

あ

豊か

な愛で

はぐくも

 $(\underline{-})$

伸

び

ゆ

ま

自

治

映

え

寄せ合う 英 知 結 Š 手

に

で な

ソレョー 踊ろじゃな

1 いか

 \vdash

ナ

若さみ あ なぎる 和誓 カコ な Š るさとよ 入 間 市

(三)

夢ハ

キ

 \mathcal{O}

梢テ

にえ

は

いみ恵今夢ハアー き音頭にないます。 大 きく 青 空 る に れ 伸 てが町 並み染めて 昇る びる ケヤ ソレ

] Ш 心やすら ぐ せら ぎ

(-)風

入 間

市

の

茶さ 園ん さわ \mathcal{O} P 4 カュ り な 輝 間 11 7 野 に

望み

 \mathcal{O}

ろ

が

る

入 S るさ 間 わ け 市 あ に お

あ

L

11

 $(\underline{-})$

む

あ

わ

せ

を

いみ若次瞳が るんいのあずア まな仲世かし 音輪間代の外が変 嶺ね そ 上をになう 仰い 育んだ

郷ま

手

をむすぶ

ソレ

い み 招素愛

んくのいア る ま な可歩茶 音 輪愛道 の武 頭 にいを花蔵 で 野 な 揚。二香なの て げ ひば行 ソレ 踊 ろじゃないか り け 緑 ば \mathcal{O} ソ ヨーイトナ レ

(-)

白ハ

いみ現い古いハ ん 在*い つ ア なと歴も 輪過かとせ間 で なを 進 唄 つなぐ川 つてる だ文化 レソレ 踊ろじゃないかなぐ川(ソレ ヨーイトナ

で

彐

ーイトナ

な

踊ろじゃ